

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 212-0013  
 住 所 神奈川県川崎市幸区堀川町580  
 氏 名 ソリッドスクエア管理組合 印  
 代表者 高橋 昭男  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	ソリッドスクエア管理組合		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	8,439	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	第一ビルディング(株) ソリッドスクエアオフィス
		所在地	神奈川県川崎市幸区堀川町580
		電話番号	044-549-6010
		FAX番号	044-549-6024
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	次により、排出量の抑制を図る。 ・ 共用部給排気ファン、空調機の運転時間の短縮 ・ 夏期における空調機への外気導入量の抑制 ・ 空調機へのCO <sub>2</sub> センサーの導入 詳細は、指針様式第1号(第4、5面)のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	1. 廃棄物の減量化・分別化の推進 2. 川崎温暖化対策推進会議(OC川崎エコ会議)への参加を行う。 詳細は、指針様式第1号(第6面)のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

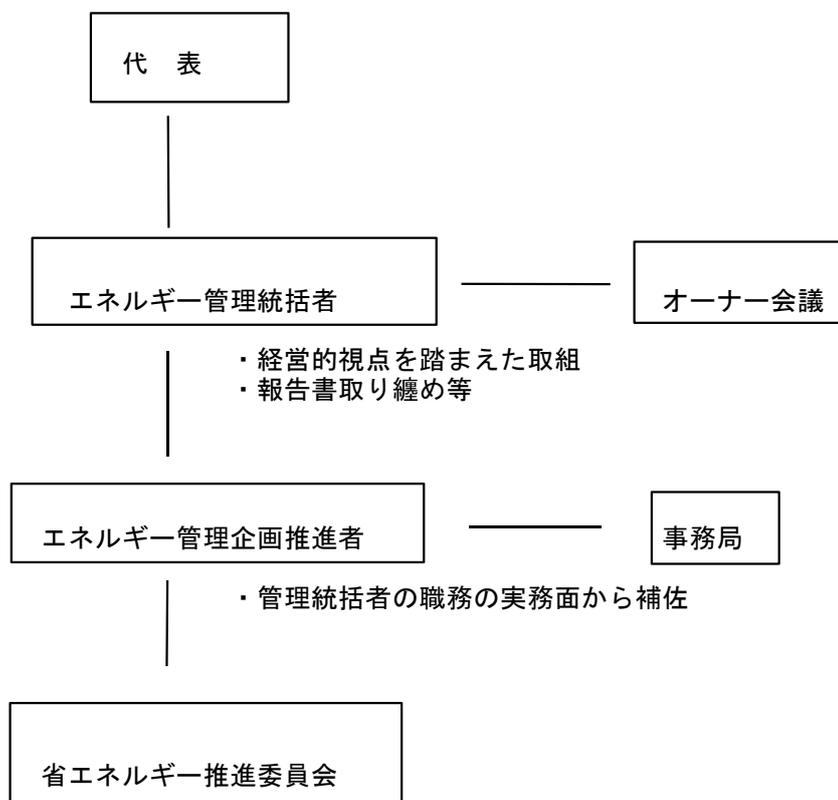
#### ソリッドスクエアの基本方針

次の方針により、積極的な地球温暖化対策を進めている。

- 1 ソリッドスクエアエネルギー管理標準に基づいた省エネルギー施策の推進
- 2 設定した目標の確実な実施

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

#### ソリッドスクエア管理組合



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 14,412 (調) 11,941 t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 13,980 t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) 3.0 %	削減量	(実) 432 t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	特殊面積	単 位	t-CO <sub>2</sub> /万m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.1719	目標年度の値	0.1668
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	テナント、店舗個々の営業形態(営業日、時間、エネルギー負荷率等)が異なるため、単純に延床面積では、適正に評価できない。 次の計算式で算出している。 $\Sigma \{(\text{テナント、店舗、共用部別延床面積}) \times \text{営業時間/日} \times \text{営業日/年} \times \text{係数}\} \div 10,000$		

ウ 目標設定に関する考え方

温室効果ガスの排出量削減を図るため排出量原単位で年平均 1 %以上の削減とする。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共用部給排気ファン、空調機の運転時間の短縮 夏期のピークカットにおいて、停止している機器を対象に年間を通じて停止する。 対象機器：給気ファン 13台 排気ファン 23台 空調機 9台</li> <li>○夏期における空調機への外気導入量の抑制 熱負荷の大きい外気導入量を抑制することにより省エネを図る。 手動によるOAダンパ開度の調整 対象空調機：64台</li> <li>○基準階空調機(AHU)へのCO2センサーの導入 基準階空調機(AHU)用CO2センサーの導入を積極的に行い、一層の外気導入量の高効率化を図る。</li> <li>○中間期におけるアトリウム空調機(AHU)の使用停止 春、秋の中間期、アトリウム空調機(AHU)4台を停止する。</li> <li>○省エネタイプ給湯器への更新 H23年～27年(5カ年)10台/年 計50台 更新 機能等詳細未定</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

<p>当面は見合わせる。</p>
------------------

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

<p>使用済みの上水(手洗い用)を原水として、バッキ装置を含む中水処理設備を介して、中水としてトイレの洗浄水として有効活用を図っている。</p>
--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 廃棄物の減量化・分別化の推進
2. 川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加を行う。

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	14,412	t-CO <sub>2</sub>
(調)	11,941	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k<sub>l</sub> 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ソリッドスクエア管理組合	川崎市幸区堀川町580	6911	不動産業	14,412 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 以上 1,500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k<sub>l</sub> 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k <sub>l</sub> 未満	
300~400k <sub>l</sub> 未満	
200~300k <sub>l</sub> 未満	
100~200k <sub>l</sub> 未満	
100k <sub>l</sub> 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--